

広島県道徳教育研究協議会第2回

研究主題「かかわり」を通して よりよい人間関係を築く 子どもの育成

～考え 高め合い 自分らしく～



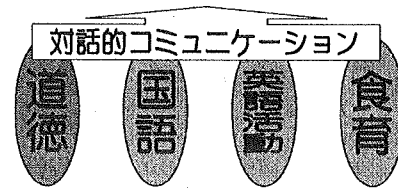
東広島市立高屋西小学校

研究の概要について

1年次 研究テーマ

確かな学びを通して、人間力を育てる

人間力の育成



今年度の研究について

かかわりを通して

よりよい人間関係を築く

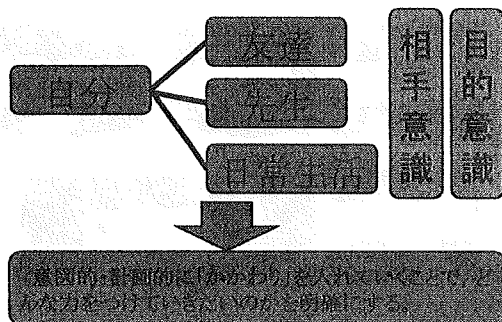
子どもの育成

— 考え 高め合い 自分らしく —

【研究仮説】

道徳や他教科等を通して、「考える・高め合う・自分らしく」というかかわりのある活動を効果的に行っていけば、確かな学びを獲得することができ、よりよい人間関係を築く児童が育つであろう。

かかわりとは・・・



よりよい人間関係とは・・・

誰かがお互いを信頼し、愛情や愛を分かち合ったり、互いの存在を肯定し合ったりすること。

- ① お互いを信頼: きっと自分の意見を受け入れてくれるという気持ち
- ② 友情や愛情を分かち合う: お互いに支え合い、思いやりをもって接する
- ③ お互いを肯定し合う: よいところを見つけ合い、ほめ合う
- ④ 心地よい: そこに「いたい」と思う、ほっとする、落ち着く

「考える・高め合う・自分らしく」とは・・・

考える → **自分の考えをもつ**
 道徳：道徳的価値について自分の考えをもつ
 他教科：自分の考えをもつ 自分をみつめる

高め合う → **意見を比べて、新たな考えをもつ**
 道徳：自分にはないものを取り入れ、道徳的価値の自覚を深める
 他教科：自分にはないものを取り入れようとする柔軟性 集団解決

自分らしく → **新たな考えにもとづいて、日常生活の中で自分を見つめる**
 道徳：自分を日常生活の中でふり回り、生き方についての考えを深める
 他教科：自己のふり回り 行動化 課題解決 自己評価力



道徳部会テーマ
 道徳的実践力を育てる道徳の時間の指導方法を求めて
 一かがり合う学級づくりを根底に

研究仮説
 他者とのかわりを大切にしながら、他教科等との関連を図り、心に響く授業を展開すれば、児童の道徳的実践力が育つであろう。

検証の視点1
 他教科等との関連を図ることで、児童の道徳的実践力は育ったか。

検証の視点2
 心に響く授業を展開することで、児童の道徳的実践力は育ったか。

検証の視点1 他教科等との関連を図ることで、児童の道徳的実践力は育ったか。

本校では学習プログラムをある目標を達成するための一つ流れとまとまりをもった学習プロセスの全体とらえている。

道徳の学習では、「価値にふれる→価値について考える→価値について実践する→価値を定着させ、これからに生かそうとする→めざす姿へ近づこうとする」といった学習者の意識や行動の変化のプロセスをさす。

検証の視点2 心に響く授業を展開することで、児童の道徳的実践力は育ったか。

T, Tの活用 表現活動 話し合い活動

ワークシートの活用 構造的な板書

価値レベル表 高学年

※ 高として他の人とのかかわりに関すること。

価値項目	2- (1)	2- (2)	2- (3)
2- (1)	互恵的な関わりが求められる。	相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。自分の立場を押し通すこと。相手の立場を押し通すこと。	同じ場面でも多様な見方があることを理解する。
2- (2)	互恵的な関わりが求められる。	相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。自分の立場を押し通すこと。相手の立場を押し通すこと。	互恵的な関わりが求められる。相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。
2- (3)	互恵的な関わりが求められる。	相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。自分の立場を押し通すこと。相手の立場を押し通すこと。	互恵的な関わりが求められる。相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。
2- (4)	互恵的な関わりが求められる。	相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。自分の立場を押し通すこと。相手の立場を押し通すこと。	互恵的な関わりが求められる。相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。
2- (5)	互恵的な関わりが求められる。	相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。自分の立場を押し通すこと。相手の立場を押し通すこと。	互恵的な関わりが求められる。相手の立場に立って、心を込めて行うものが必要であること。

価値レベル	2- (2) 思いやり・親切	判断キーワード
レベル1	困っているお兄さんに親切にする。	優しくする。助ける。
レベル2	お兄さんの状況を考え、何を手助けすればよいのか考える。	勇気を出して行動する。
レベル3	どうすることが相手のためになるか考え、次の人に親切にできる。	喜びを引き継ぐこと。親切を次の人にしていく。おにがいさよ。

他教科部会テーマ

かかわり合う授業を通して、教科の力を育てる

研究仮説

教科ごとにかかわり合う活動を取り入れれば、自己の生活を見つめたり、課題に対する解決方法の視野を広げたりすることができ、教科の力やよりよい人間関係を築くことができるであろう。

検証の視点1

授業の学習過程の中で、かかわり合う活動を取り入れることで、教科の力を育てることができたか。

検証の視点2

授業の過程の中で、かかわり合う活動を取り入れることで、よりよい人間関係を築くことができたか。

道徳の時間との関連

各教科における指導 ↔ 道徳の時間

- 各教科の目標、内容及び教材
 - 直接的なかかわり
 - 間接的なかかわり
- 学習活動や学習態度
- 教師の態度や行動による感化

これまでの研究授業での提案

3 科

【本時の目標】
食べ物の3つの働きを知り、健康になるために、好き嫌いをしないで何でも食べようとする意欲をもつことができる。

↓

わからなかったり困ったりしたら、悲観しないで人の知恵を借りること。
※ 元氣丸になるために、自分でやろうと決めたことは、がんばる。
1- (2)の内容項目に関連
※ 元氣丸になるために、自分でできることを自分でかんがえることができる。
1- (1)の内容項目に関連

【道徳的視点】
○友達とのかかわりを通して、自分にできることを考え、自己評価やこれからの行動化に向けて考える。

これまでの研究授業での提案

6 科

【本時の目標】
俳句で詠まれた時の月の形を考えた時、日食などの天体現象を学習したことをもとに考えたりする活動を通して、月の形や月と太陽との位置関係について考えることができる。

↓

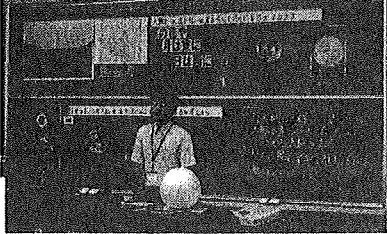
わからなかったり困ったりしたら、悲観しないで人の知恵を借りること
※ 月や日食の現象など美しいものに感動する心をもつようにする。
3- (3)の内容項目に関連

【道徳的視点】
○学習したことを自然現象とのかかわりの中でとらえ直すことで自然を愛する心情を育てることができるようにする。

6年 科

俳句で詠まれた時の月の形を考える。

月や日食の現象など美しいものに感動する。



本日の授業のポイントについて

2年 田川教諭の授業

資料への思い 考える	資料「おにごっこ」は学級活動「1年生と もっとなかよくなろう」での子どもたちの様子 をもとに、自作した。
かかわり 高め合う	6年生の班長と3年生の児童とのやりとり を役割演技する場面では、それを見ている 児童に主人公の気持ちを考えさせることで、 思いやりの大切さに気づかせたい。
自己のふり返り 自分らしく	1年生からの話を聞いたり、手紙をもらっ たりすることで、意欲をもたせたい。

本日の授業のポイントについて

3年 重光教諭の授業

資料への思い 考える	クラスの実態をもとにつくった自作資料である。 主人公であるぼくの気持ちを考えることで、誰と でも仲良くしようとする心情を育てていきたい。
かかわり 高め合う	主人公がしんいちをじっと見つめる場面でグ ループトークを取り入れ、自分の考えを発言し たり、友達のを考えにふれたりすることで価値につ いて考えを深めさせたい。
自己のふり返り 自分らしく	友達と遊んだり活動したりして楽しかった場 面をふり返り、誰とも仲良くする良さを感じ取らせ、 実践意欲をもたせるようにしたい。

本日の授業のポイントについて

5年 寺川の授業

資料への思い 考える	資料の中での父やトラックのおじさんの行 動や考え方は本当の親切を考える上で、現 在の児童にとってもぜひ感じ取って欲しい。
かかわり 高め合う	すてきなおりものについて考える場面で、 付箋紙を使った交流活動を取り入れ、価値 についての多様なとらえを共有させたい。
自己のふり返り 自分らしく	自分の生活を見つめた振り返りができるよ うにする。